

水化学部会 運営小委員会の委員としての抱負

三菱重工業（株） 原子力セグメント プラント設計部
系統設計課 水化学技術チーム 前田 哲宏

昨年 4 月より、水化学部会の運営小委員会委員の一員として参加することになりました、三菱重工業（株）の前田哲宏（まえだあきひろ）と申します。

三菱重工入社後は、加圧水型原子力発電所（PWR プラント）の 1/2 次系水化学関連の国内向けアフターサービス工事や委託調査、研究開発に関する業務に一貫して従事してきました。これまでに従事した業務のうち、特に 2011 年 3 月の震災以降の長期停止とその後の PWR プラント再稼働に対する取組みは印象深く、社会インフラを支える PWR プラントメーカーの一員として、微力ながら貢献させていただけたように思います。

水化学は、プラント構成材料や燃料の健全性維持だけでなく、被ばく低減やプラント性能維持・向上、放射性廃棄物の低減といった多岐にわたり貢献できる非常に重要な分野です。このような技術分野を取り扱う水化学部会は、前身である水化学研究専門委員会から数多くの諸先輩方が所属の枠組みを超えて築いてこられた良き伝統や知見が多く残っています。とりわけ、昨今の課題である、新設プラントを経験したベテラン社員が退職により年々減少し、技術の伝承が難しくなっている環境において、電力会社、研究機関、大学、メーカー、規制当局といった様々な立場の方々と交流できる学会活動の場の重要性が高くなっており、水化学部会もその 1 つです。この水化学部会の運営小委員会の一員として、今後の水化学技術者同士の交流促進や新たな技術的課題の発掘と解決、水化学分野の良き伝統の継承と更なる発展に少しでもお力になれば、と思っています。

水化学分野の経験はまだ浅い若輩者であり、ご迷惑をおかけすることもあろうかと思いますが、ご指導ご鞭撻いただけますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

2024 年 3 月